

乙訓の自然を守る会



「乙訓」とは、旧乙訓郡のことです。京都市西京区の多くと南区の一部、伏見区の一部、向日市、長岡京市、大山崎町で、桂川右岸に位置します。

乙訓地域は、西山の山地からつづく丘陵地、平野部、桂川の河川敷と地形の変化があり、1,316種類の植物を育てています。植物が豊かであれば昆虫や野鳥などの動物も豊かです。

「乙訓の自然を守る会」では、こうした生物の多様性を皆さんとともに守っていきます。

■ゆるやか～な 自由な組織です。

- ・年会費：1,000円
- ・ニュース：年2回、会報：年4回
- ・会員：400名 世話人：44人（各分野の専門家）
- ・あなたの参加できる行事や調査に自由に参加してください。友好、親交を深めて、あなたの生き方を広げましょう。



■自然観察会（詳細はニュースまたはHP参照）

- 春 つみ草ハイキング
6月：たそがれ観察会
(蝶ウラジロミドリシジミ、ホタル観察)
- 夏 昆虫観察会、魚観察会
- 秋 植物観察会、きのご観察会
10月：子どもたちと、どんぐり祭り
- 冬 野鳥観察会

■自然保護活動

自然保護活動は、保護すべき生物を見守り（人為的破壊から守る）、できるだけ手を加えず、最小限の環境整備で守っています。

- ・里山倶楽部と蝶・昆虫グループが光明寺裏で蝶の森づくり（多様な生き物の森）
- ・桂川の生態系を保全するグループ
- ・稀少植物保全グループ
(秋の七草など絶滅に瀕している植物を守る)
- ・小泉川倶楽部
(流域の水生生物やシマカンギクなどを守る)
- ・乙訓ヒメボタル研究会
(ヒメボタル生息地を守る)
- ・乙訓・水生生物調査グループ



■当会が協力している自然保護団体

- ・ポンポン山の自然を守る懇談会
- ・里山再生市民フォーラム
- ・乙訓桂川愛護会
- ・西山自然保護ネットワーク
- ・桂川生物保全ネットワーク
- ・久保川と天王山の森を守る会



■里地里山の保全

里地里山の保全は、生物が生息できる環境を積極的に整備して守っています。

- ・里山倶楽部
(光明寺裏で蝶の森づくり：毎週第4日曜日)
- ・小泉川倶楽部
(小泉川の環境保全、ビオトープ管理：毎週火曜午前)
- ・冬水田んぼグループ
(大原野で生物多様性の米づくり)
- ・青年による里山再生検討会（毎月第1土曜日）

■調査研究

調査研究は、保護する生物の動向や環境を継続的に調べ、保護に役立つ活動を行っています。

- ・西山周辺の植物目録、編集委員会
- ・西山公園の生物調査
- ・乙訓・水生生物調査グループ
- ・カヤネズミ研究会
- ・蝶・昆虫グループ
- ・哺乳類研究会
- ・魚類研究会
- ・野鳥調査グループ
- ・コケグループ
- ・森林整備協議会に関する生物の調査グループ

発行責任者：宮崎俊一

〒617-0824 長岡京市天神 3-14-5

TEL：075-954-1429

090-7346-3059

【E-MAIL】 (宮崎) s.miya@iris.eonet.ne.jp
 (乙訓の自然を守る会) otokuni.sizen@gmail.com
 【ホームページ】 <http://otokuni-sizen.jimdo.com/>



【HP】



【Facebook】

乙訓の野生生物 8つのホットスポット

■大原野の平野

西山連山の急斜面のふもとには田畑、竹林、宅地に利用されている平野ですが、自然が残っています。フジバカマ(野生絶滅)発見の地で、キキョウ、イヌザクラなど野生桜5種、など多様な植物が生育しています。オオムラサキ、ヒメカマキリなど5種のカマキリ、モリアオガエルなど8種のカエル、ムササビ(大原野神社)、アマサギなど多様な動物が生息しています。



■光明寺周辺の里山

雑木林にはオオクワガタなど8種のクワガタ類やオオムラサキが生息しています。ナラガシワ林ではウラジロミドリシジミが飛びます。初夏の水田にはカブトエビなど3種のミジンコの仲間(生きた化石)が発生します。キヌガサダケやクモタケ(冬虫夏草)、カゴタケなどキノコも多いです。アナグマなど10種の中大型哺乳類が生息しています(乙訓には全部で13種)



■小塩山とポンポン山

(大原野森林公園を含む)
600m尾根の向こう側で、川は高槻市や亀岡に流れ、トリカブト(キタヤマブシ)など草本が豊富です。山は薪炭林の雑木林でカタクリや、石灰岩地帯にはフクジュソウが生育しています。ギフチョウやムカシントポ(生きた化石)などが生息しています。



■外畑の盆地

標高400m、山間の水田地帯ですが、昔は大湿地だったと思われます。アマメヤノハナショウブの原種が見つかっています。カザグルマやクロゲンゴロウやメダカなどが生息しています。



■小泉川上流部と

奥海印寺周辺

小泉川は大沢峠420mが源流で、V字渓谷にはオオサンショウオが棲み、ミヤマカラスアゲハなど多様な昆虫、ヤノネシダなど多様なシダ、シマカンギクなどが生育しています。アオバトが生息し、渡りの途中のコマドリが来ます。平野部の小泉川ではオイカワが群れ、オニヤンマなどトンボ類が多いです。溜め池ではオオタニシ、田んぼではマルタニシが生息しています。



■西羽束師川流域

周辺に住宅地が迫っていますが、水田の素掘り水路にササバモ、コガマ、などの水草のほか、ミズワビなど湿性のシダ類が生育、ナマズやメダカ、タナゴ類やヨドゼゼラ(新種)などの多様な魚類が生息しています。また、両生類ではナゴヤダルマガエルを確認しました。ケリの繁殖地であり、チュウサギなどサギ類も多いです。多様な水辺の生物の生息地です。



■桂川下流域

12haの河畔林にヒメボタルが生息。またアオサギが集団営巣し、その巣にキョウトチビコブスジコガネがいます。昔の氾濫原でオグラコウホネが生育し、高水敷きにはミズアオイなど絶滅危惧10種の埋土種子が眠っています。芦原のカヤネズミや小鳥をねらってオオタカなど猛禽類7種が飛来します。本流には大量のアユやボラが遡上し、ヨドゼゼラ(新種)など多様な魚類が生息しています。魚を獲るタカ・ミサゴがいます。



■天王山とその山麓

西山連山から東南に突き出した山で渡り鳥の中継地です。竹林侵入での雑木林(コナラ、アベマキなど)が減り、野鳥や草本が減りましたが、アオバスクやオシドリなどが飛来します。谷筋ではカリガネソウ。

